

## 住友理工、ペットボトルのキャップを回収して ワクチン 4,000 人分を寄付達成 ～全従業員参加型の CSR 活動～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は、9年9ヶ月の期間で、ペットボトルのキャップを累計 344 万個以上回収し、4 千人分以上のポリオワクチンを寄付できることになりましたのでお知らせいたします。



ペットボトルキャップの回収箱



住理工ジョイフルでの回収・選別業務

本活動は、2009年4月からスタートした活動で、2018年12月に、累計 4,010 人分のワクチンを寄付できたこととなります。

2008年に従業員のボランティア組織である「あったかクラブ」が発足。従業員が身近にできるボランティア活動はないかと検討する中で、エコキャップ活動<sup>※</sup>を知り、これならば誰でも簡単に参画できるということで導入に至りました。

### ■ 回収内容

	キャップ回収個数	ポリオワクチン数	CO <sub>2</sub> 削減効果
累計	3,448,678 個	4,010 人分	25,264kg
昨年 12 月分	22,360 個	39 人分	236kg

回収の流れは、小牧本社・製作所を中心に、グローバル本社や東京営業所など他の事業所で集めたキャップを、小牧製作所に集めます。その後、同製作所内にある、特例子会社 株式会社住理工ジョイフルの従業員が、一つひとつチェックし、異物（ペットボトル以外のキャップやゴミなど）があれば取り除いています。

そして、1週間分をまとめて、愛キャップ委員会（愛知県プラスチックリサイクル協同組合所属の有志 9 社によって設立）に買い取ってもらいます。同委員会では、これをプラスチックに再生することで、利益を得る仕組みです。

当社では、この買い取りで得たお金を「世界の子どもにワクチンを委員会」へワクチン代として提供することによって、海外でワクチンを必要としている子どもたちへの支援に役立てています。キャップ 860 個でポリオワクチン 1 人分を提供できる計算です。また、ペットボトルのキャップをそのまま焼却してしまうと CO<sub>2</sub>が排出されますが、リサイクルに回すことによって、430 個で 3,150 g の CO<sub>2</sub>発生を防ぐことができます。

飲料を飲み終わって捨てる際に、ペットボトルのごみ箱の隣の回収箱へキャップを外して入れる簡単な取り組みであることから、多くの従業員が参画。従業員一人ひとりが参加しやすく、社会貢献活動への意識を高めることにも一役買っています。

今後も当社では、事業活動だけでなく CSR 活動も通じて、社会への貢献を広げ、世界中で必要とされる“Global Excellent Manufacturing Company” すなわち「人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する企業」への飛躍を目指してまいります。



※エコキャップ活動：ペットボトルのキャップは各社統一されておらず、ボトル部分とは一緒にリサイクルできないという特徴があるため、ボトルとは別でキャップを回収し、リサイクルしながらもワクチンの寄付につなげるという目的で、エコキャップ活動は始まったようです。

以上

----- 住友理工について -----

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制震部品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、世界中の人々の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先  
**住友理工株式会社**

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋  
tel 052-571-0259 e-mail [kouhou@jp.sumitomoriko.com](mailto:kouhou@jp.sumitomoriko.com) <https://www.sumitomoriko.co.jp/>